

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	介護福祉課 障がい福祉
------	-------------

事務事業名	障がい者プラン・障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	3	民生費	
	基本目標	5. 健やかな暮らしづくり	項	1	社会福祉費	
	施策	5-2 地域福祉の充実	目	2	社会福祉費	
	基本方針	5-2-2 障がい者福祉の充実	事業	11	障がい者プラン・障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	国の基本方針に従い、地域の実情に応じた障がい者プラン、障がい福祉計画、障がい児福祉計画を策定する。	事業の内容	前期計画の評価、事業の実績及び障がい者等に対するアンケート、関係機関に対するヒアリング調査、パブリックコメントの結果を基に策定協議会で審議し、計画を策定する。
-------	---------------------------------------------------	-------	---------------------------------------------------------------------------------

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標	
				R1	R2	R3	R4
策定協議会開催回数	指標の説明		回	目標		3	
	策定協議会開催回数			実績		3	
		R1年度決算	R2年度決算	R3年度予算	市民一人あたりのコスト		
関連事業費	事業費		0	2,616,424	0	R1	0
	財源内訳	国県支出金				R2	70
		地方債				各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他				R1	37,795
		一般財源		2,616,424		R2	37,243

■評価（CHECK）

事業の方向性	拡充	縮小して継続	判定理由	前期計画の評価、アンケートの分析結果等を踏まえ3回の協議会を開催（内1回は書面による開催）。地域の実情に応じた計画を策定した。
	改善・効率化し継続	休止・廃止		
	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	計画の推進にあたって市民の意見の把握に努めながら、各施策や事業の実施状況について、年度ごとに点検評価を行い施策の充実・見直しについて改善・効率化を図る。
今後の方向性	障がい者施策の円滑な推進にあたり、庁内及び関係機関と連携を図り、総合的・効果的な取り組みを実施していく。